

KOSEN の窓

クニック（日本の高専に近い高等教育機関）と学生交流を続けています。12月に10人の学生を受け入れ、3月には15人を派遣。それぞれ約10日間の文化交流プログラムを実施しています。

この5年間は、九州沖

ターンシップを行うまで

世界で活躍 できる技術者に

有明高専 国際交流室長 山口 英一

単語が分からなくて、数式や化学式を書きながら会話は、まさにKOSENです。

国際交流

室の次なる大きな目標は、4年生の研修旅行で全学生が海外の企業訪問、現地大学との学生交流を経験することです。過去に

海外研修に参加した学生たちは、観光旅行と違う形で海外に第一歩を踏み出した意義は想像以上に大きかったと実感してい

ます。

KOSENは「技術のことば」で世界と「コミュニケーション」できる学生たちを育てています。

有明高専 (不定期掲載)

北から南まで、国立高専は全国で51校があります。これをまとめているのが国立高専機構で、第3期中期計画の中で「産業界のニーズにこたえる語学力や異文化理解力、リーダーシップ、マネジメント力など備えグローバルに活躍できる技術者」の育成を掲げています。有明高専の中で、その実現を推進する役割を担っているのが国際交流室です。

本校では、過去10年近くシンガポール・ポリテクニク地区の9高専連携事業として「高専・企業・アジア連携による実践的・創造的技術者の養成」という大きなプロジェクトが進行中です。アジア各国の大学10校との連携協定による学生交流、海外企業でインターンシップの両方を大きな資金援助

になりました。

また海外大学からの2カ月程度の学生受け入れも毎年数人が来訪。在学中の国費留学生6人の協力も得て、昼休みの学生食堂では外国人学生を囲み、本校学生たちが英語で話す光景が日常的になりました。研究室では英

になりました。研究室では英



タイ・カセサート大学での学生交流